



## ルーム・トゥ・リード 2020年の振り返り

### 2020: チャレンジ多き1年

2020年は、他に類を見ない時期でした。当初は、団体創立20周年をお祝いする記念すべき年になると思っていましたが、ルーム・トゥ・リードがこの20年間で学んだ教訓が、近年の歴史上最大の教育危機への対応に役立った重要な節目の年となりました。

混乱の中、ルーム・トゥ・リードの支援者および投資家である皆様から、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の課題に直面しながらも、多大なご支援をいただきました。皆様のおかげで、ピーク時には16億人もの子ども達が学校に通えなくなりましたが、ルーム・トゥ・リードは、生徒達が学習を継続できるよう支援することができました。そして今もお、何百万人もの学校に通えない子ども達のために遠隔学習をサポートし続けながら、遠隔学習からも取り残されてしまっている子ども達を早急に支援する必要があります。これは容易なことではありません。COVID-19の影響が拡大するにつれ、それ以前から経済的に苦しい状況にあった家族は、ますます厳しい決断を迫られるようになっていきます。私達は経験から、このような厳しい決断の結果、生徒、特に女の子の中途が増えることを知っています。そして、小学校1年生から3年生までの教育が中断すると、子ども達が読み書きを学ぶために必要なスキルを身につけることができない可能性があります。

もし2020年を物語にしたなら、エンディングは崖っぷちだったでしょう。

**全世代の子ども達の希望と夢は、勉強に追いつき、読解力を身につける機会とともに、消えてしまうのでしょうか？**

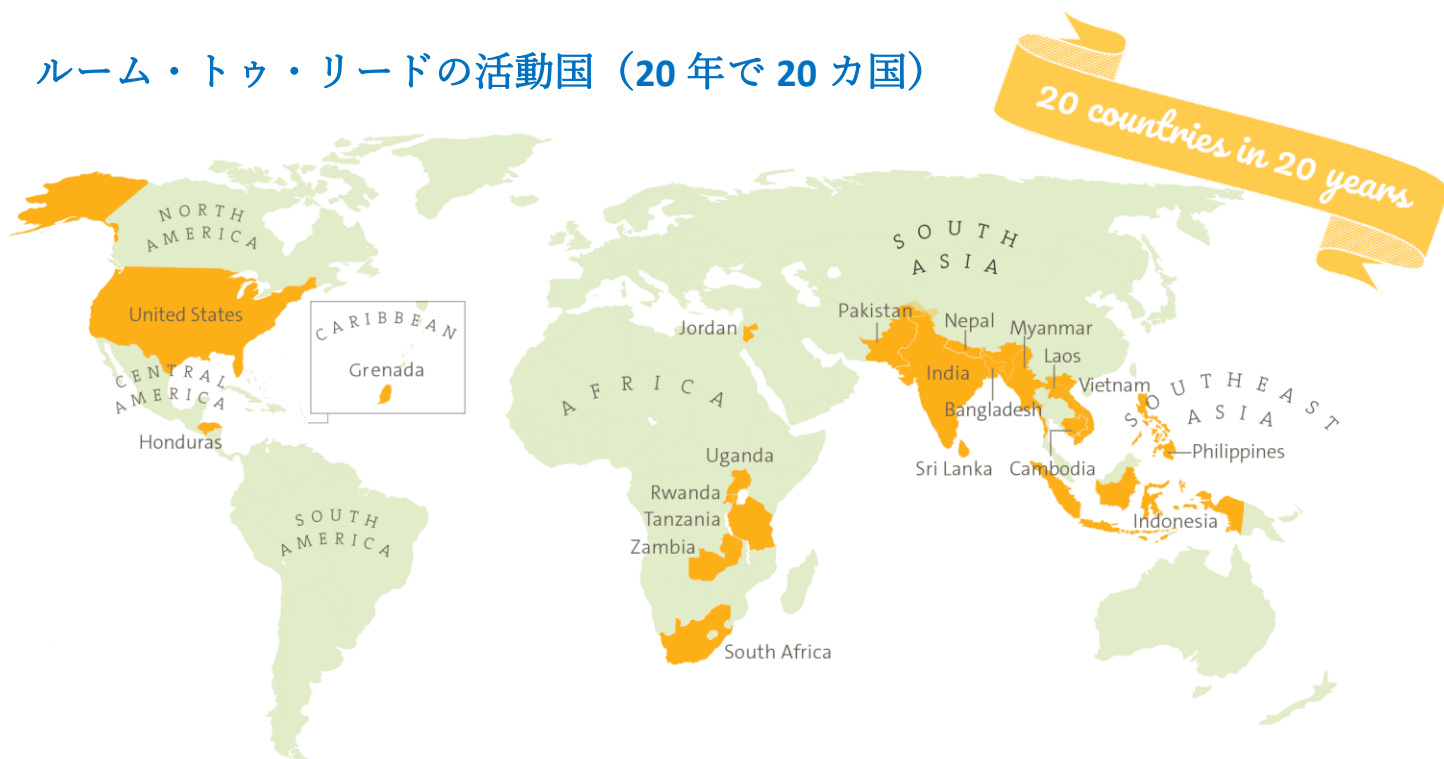
一緒に、最も弱い立場にあるコミュニティの何百万人もの子ども達の物語を変えていきましょう。ルーム・トゥ・リードでは、昨年の主要な戦略と教訓を倍増させることで、2025年までに4,000万人の子ども達をサポートするという目標に向かって前進していきます。本報告書では、将来の成功の礎となる、最も重要で有望な成果をいくつか紹介しています。

- 識字教育と女子教育プログラムの遠隔学習への適用
- 新しい言語やテーマを取り入れた書籍の出版ポートフォリオを大幅に拡大
- ルーム・トゥ・リードのジェンダー平等の活動を男の子にも適用し、規模を拡大し続けるための方法を研究
- ルーム・トゥ・リードのミッションを推進するために、世界中のリーダーや支持者と協力

皆さまが、子ども達が学び続けるために尽力してくださったことにとっても感謝しています。「子どもの教育が世界を変える」というルーム・トゥ・リードのビジョンによって、私達は団結し、より強くなります。一文字一文字、一字一句、一行一行、私達はともに、子ども達が夢に向かって手を伸ばし、将来の教師、医療従事者、気候科学者、コミュニティのリーダーになるための準備を備えた、新しい章を創り出しています。



## ルーム・トゥ・リードの活動国（20年で20カ国）



### これまでの支援範囲



注：これらの数値は2020年末時点での推定値であり、まだ監査を受けていません。そのため、より多くのデータを収集していく中で変更される可能性があります。

### 教育を持続させる：ルーム・トゥ・リードの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

公立学校で支援活動している組織として、主に教師や生徒に対して学習介入を行っています。COVID-19の拡大とそれに伴う世界中の学校閉鎖は、2020年、ルーム・トゥ・リードにとって大きな課題となりました。私達は迅速かつ創造的に対応し、プログラムを遠隔で提供できるよう変更しました。勉強が遅れたり、完全に中退したりする大きなリスクを抱えている時期に、必要としている生徒のために尽力し続けました。



この功績が認められ、ルーム・トゥ・リードは、米国議会図書館リテラシー賞プログラムの2020年 David M. Rubenstein 特別対応賞の受賞団体のひとつに選ばれました。この賞は、COVID-19パンデミックと最近の社会不安によって引き起こされた課題に対処するための対応力と優れた取り組みに対して、ルーム・トゥ・リードが他の組織のための成功事例モデルとして評価されたものです。



両プログラムの適応方法については、次ページ以降、詳しく説明します。

# GIRLS' EDUCATION HIGHLIGHTS



## ラジオ用にライフスキルのカリキュラムを適用

今後も中等教育の女の子への支援を続けていく中で、ラジオを含めた遠隔学習の方法を拡大していきます。ルーム・トゥ・リードは、女子教育と社会規範の変革を目的としたラジオ番組の主要なアクターと成功事例について、ランドスケープ分析を行いました。

ランドスケープ分析では、遠隔地の低所得環境でラジオ番組を配信するためのアプローチと、中等教育の女の子向けのラジオ番組を開発するための推奨事項が示されました。また、ラジオ番組の連載を通じた教育的エンターテインメントの開発を専門とする非政府組織であるポピュレーションメディアセンター（PMC）と提携し、ライフスキル教育カリキュラムの配信にラジオの利用を統合しました。

## ジェンダー意識と感受性の向上

ルーム・トゥ・リード 2020-2024 年の戦略計画「ビジョン 2025：不可能の終焉」では、これまで以上にジェンダーに配慮した組織づくりへのコミットメントを強化しています。昨年、ルーム・トゥ・リードはジェンダー平等方針の草案を起草し、職員向けのトレーニングやウェビナーを作成し、業務のあらゆる分野でジェンダーを考慮するためのグローバルなフレームワークを開発しました。この方針を実施することで、ベースラインレポートの結果や進捗状況を外部のステークホルダーと共有できるようになります。

## 男の子向けにライフスキルアセスメントを適用

2019 年、ルーム・トゥ・リードは、教育を通じた男子のエンゲージメントと、より大きなジェンダー平等実現のための戦略を知らせるために、カンボジアで形成的な調査研究を開始しました。2020 年には、Promundo および Gender and Development for Cambodia（GADC）と共同で調査を実施しました。

現行のライフスキル評価を 7 年生の男子 90 名に実施し、男子に関連性があり信頼性の高いものとするために、既存の尺度をどのように適応させる必要があるかを明らかにし、男子のライフスキルが同じ文脈の女子のそれと比較してどのようなものかを理解するために、現行のライフスキル評価を 7 年生の男子に実施しました（同じ学年のカンボジアの女子 1,199 名を対象とした以前の調査を参照）。また、暴力に対する態度、男らしさとタフネス、自給自足、そして男子の人間関係や家族の力学を理解するための質問など、男子に特化した新しい尺度も追加されました。私達は Promundo と共同でこれらの項目を開発し、Promundo のジェンダーに対する男子の態度に関する広範なプログラムと測定の経験を基にして、カンボジアの状況に合わせて翻訳および適応させました。データからは、男子も女子も、領域を超えて異なる強調度ではあるものの、ジェンダーに不公平な態度をとっていることが明らかになりました。

調査に加えて、男子、女子、男女の保護者を対象としたフォーカスグループディスカッションを試験的に実施しました。第 1 回目の試験に基づいて、フォーカスグループでの話し合いを強化するために、主要な質問を改良しました。第 2 回目の実地試験では、プログラムと測定の設計に情報を提供するために、そこで起きているジェンダーの力学をより深く理解することができました。フォーカスグループでの議論の結果、抽象的にはジェンダー平等の概念を支持しているが、具体的な問題について質問すると、すべてのグループの回答者がジェンダーの役割を自然で望ましいものと考えていることが明らかになりました。本調査およびその他の 2020 年 RM&E（リサーチ・モニタリング・評価）活動の詳細については、[グローバル リサーチ・モニタリング・評価報告書全文（日本語）](#) をご覧下さい。 3



## COVID-19 禍での対応

遠隔メンタリング:女の子が学校を休んでいる間も、ルーム・トゥ・リードの職員は、グループおよび個人のメンタリングを電話で女の子に提供し続けています。メンタリングセッションを利用して、危機を乗り越えて女の子達を支援し、自宅で学業を続けられるようサポートしています。

- 2020年を通して、職員はプログラム参加者に265,400回以上の個別の遠隔メンタリングセッションを提供しました。

ライフスキルビデオ:ビデオは、電話や場合によってはテレビで共有できるので、女の子にライフスキルを創造的に教える上で不可欠な役割を果たしています。

- バングラデシュ、カンボジア、ベトナムでは、各国で、ライフスキルカリキュラムのセッションに基づいた一連のビデオがあります。取り入れるトピックには、自信、忍耐力、共感、コミュニケーション、人間関係の構築、金融教育などがあります。

最もリスクの高い女の子の特定と支援:ルーム・トゥ・リードの職員は、学校閉鎖中に女の子が直面しているリスクを評価するために、個別の遠隔メンタリングセッション時に簡単なリスク調査を含めています。3つのリスク要因に焦点を当てています:女子が学校閉鎖中に勉強に続けていたかどうか、家族の誰かがコロナ禍で仕事や収入を失ったかどうか、そして、学校が再開したら学校に戻れるかどうかを心配していたかどうか、です。

- 2020年末に、学校が再開し、2020年末まで開校したままの国で学校に戻った女子教育プログラム参加者の割合を評価しました。カンボジアで91.5%、ベトナムで93.7%、スリランカで95.7%、ラオスで96.5%、タンザニアで98.9%と高い復学率が見られました。

### 数字で見るコロナ禍での対応—女子教育プログラム

**265,400+**

遠隔個人メンタリングセッション数

**34,400+**

遠隔個人メンタリングセッションを受けた女の子の数

**133**

ラジオで放映されたルーム・トゥ・リードの番組数

**10,600+**

印刷教材を受け取った女の子の数

**26**

テレビで放映されたルーム・トゥ・リードの番組数

# LITERACY HIGHLIGHTS

## 子ども達の読解力を向上させるための識字教育プログラム

ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムは、様々な状況下で生徒の読解力に大きなプラスの影響を一貫して示しています。直近の2年間の影響評価では、ルーム・トゥ・リードが支援を行っている学校の生徒の読解力が、介入2年後には、比較校の同級生の読解力を2~3倍も上回るという強力な結果が示されています。

これらの結果により、ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムは、Center for Global Developmentの「Learning @ Scale」研究イニシアチブから「規模効果が大きい」と評価されました。ビル&メリнда・ゲイツ財団の資金提供を受けたこの研究イニシアチブでは、開発途上国で大規模に運営されている低学年の読み聞かせプログラムの中から、学習の改善に意義のあるプログラムを特定したものです。調査チームは世界各地で調査を行い、インドで実施されているルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムを含む8つのプログラムを選定しました。

## 書籍出版活動

昨年、ルーム・トゥ・リードは児童書出版の専門知識を生かして、いくつかの新しい革新的なプロジェクトに取り組みました。「**平和と平等**」シリーズでは、米国の多様な作家やイラストレーターが集まり、より平和で公正な世界の実現をテーマに、わずか4週間で10冊の本を制作する「ブックプリント」を実施しました。それぞれの本は4人のクリエイターによるチームで制作され、シリーズは、黒人発明家の貢献、米国の国勢調査の重要性、米国でのパレスチナ難民の体験など、さまざまな魅力的なストーリーを扱っています。

また、世界各地の気候関連のさまざまな問題に焦点を当てた、若い読者向けの説明的ノンフィクション本のグローバルシリーズも開発しました。子ども達が気候変動が世界の様々な地域にどのような影響を与えているかを学ぶことができるように、地理的な文脈に合わせて本の内容を変えていくことを計画しています。

2019年、ルーム・トゥ・リードでは、初めて**フィリピン語のタイトルの出版**を開始し、20冊の美しい本を生み出しました。2020年には、2つの方法でこれらのタイトルをより多くの読者に紹介しました。1. フィリピンの子ども達に2万部の本を印刷して配布、そして、2. インターネットへのアクセスがない（または限られた）コミュニティの子ども達にサービスを提供するために、20冊のフィリピン語タイトルの15分間のラジオ番組を作成、です

ルーム・トゥ・リードでは、このような異常な時期に子ども達が経験したことを反映した本が役立つと考え、**COVID-19の本シリーズ**を制作しました。10カ国（12の言語と11の時間帯）の本の制作者とグローバルワークショップを開催し、子ども達が経験しているCOVID-19パンデミックに関連したテーマの本を20冊開発しました。

## 米国内でのプレゼンス拡大

2020年、ルーム・トゥ・リードは米国内での影響の機会をさらに追求しました。Kappa Alpha Psi (カッパ・アルファ・プサイ) は、大学で2番目に古い歴史を持つ黒人の友愛会で、アメリカで子ども達が多様な本に触れる機会を広げるのに貢献しています。ルーム・トゥ・リードが訓練を受けた Kappa Alpha Psi の学生ボランティアが、ハンズ・オン・ブックプログラムを通じて、アフリカの本を北米全土の資金不足の学校の子供達と共有しています。このパートナーシップは昨年、TODAY ショーで紹介されました。

米国でのこの協力関係の成功を受けて、サンフランシスコ・ベイエリアの移民や低所得者層の教育ニーズを支援する組織とのパートナーシップを確立しました。Refugee and Immigrant Transitions (RIT) にルーム・トゥ・リード出版のアラビア語とスペイン語の本を提供し、Mission Economic Development Agency (MEDA) を通じて5つの小学校とラティノー・タスクフォースのハブにスペイン語の本を配布しました。この取り組みを通じて、1,550人の子供達にサービスが提供できる予定です。

さらに、長期的なパートナーであるコスメブランド Tatcha (タッチャ) 社は、ルーム・トゥ・リードの活動から最も恩恵を受けることができる地域と人口を特定するために、米国の包括的な教育のランドスケープ分析に惜しみなく投資してくれました。このパートナーシップを通じて、コミュニティベースのパートナーと協力して、サービスが行き届いていないコミュニティで本を作り、出版し、配布していきます。

### コロナ禍での対応

ラジオ番組: インターネットへの接続なしで、ラジオは今でも世界中で最も一般的に利用され、アクセスされている技術です。そのため、識字をテーマにしたラジオ番組を導入しています。

- スリランカでは、地域の放送サービスと提携し、タミル語とシンハラ語の両方でコンテンツを提供しています。ラジオ番組では、子ども達向けの読み聞かせや、家庭での子どもの読書の発達をサポートする最善の方法について、保護者向けの読み書き能力のヒントに重点を置いています。

テキストメッセージを活用したエンゲージメント: ルーム・トゥ・リードでは、生徒が家庭で学習を続けている間に、生徒の家族をサポートするためにテキストメッセージを利用しています。

- カンボジアでは、識字チームが保護者向けのテキストとビデオによるガイダンスを開発しています。内容は、最も重要な識字力を強調し、保護者にアドバイスと励ましを提供することに重点を置いています。

ワークシートを使って能力を伸ばす: ワークシートや本のような印刷教材も、この時期に子ども達が学習を続けるためには欠かせない要素です。

- インドのチームは、デジタルプラットフォームにアクセスできない1年生と2年生の子ども達のために、一人あたりにつき約60枚の教材が含まれる印刷された識字パッケージを作り、子ども達のための文字を書く機会を提供しています (能力に合わせたものと、作文の両方)。

デジタルブックへのアクセス: Google.org の支援で開発したルーム・トゥ・リードのデジタル児童書ライブラリと教師向けプラットフォーム「[Literacy Cloud](#)」は、2020年の成功に重要な役割を果たしました。ルーム・トゥ・リードは、コロナ禍で遠隔学習する子ども達のニーズに応えるために、ライブラリを大幅に拡張しました。Literacy Cloud は現在、24カ国語で約1,600タイトルもの書籍を所蔵しています。ウェブサイト自体も15カ国語で運営されており、143カ国のユーザーがアクセスしています (注: 日本語はありませんが、多くの現地語で書かれた絵本が英語でもお読みいただけます)。

### 数字で見るコロナ禍での対応—識字教育プログラム

**387**

テレビで放映された  
ルーム・トゥ・リード  
プログラムの番組数

**1,178**

ラジオで放映された  
ルーム・トゥ・リード  
プログラムの番組数

**615,400+**

印刷教材を受け取った  
子ども達の人数

**25,900+**

作家、イラストレーター  
のバーチャルトレーニング  
時間数

**184 万人+**

生徒と保護者に送った  
ダイレクトメッセージ数



# ORGANIZATION HIGHLIGHTS



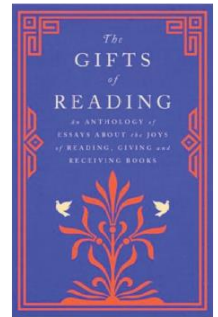
## ブッククラブ

2020年、[Room to Read Book Club](#) (英語) を開始しました。読書家、実行者、そしてあらゆる年齢層のグローバル市民が集うこのコミュニティでは、毎月何か新しいことを学び、本の魔法を楽しむことができます。ソーシャルグッド CEO が誓う驚きのタイトルから、他では手に入らない世界の美しい物語まで。



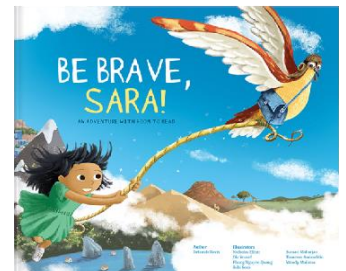
## The Gifts of Reading (読書の贈り物)

「[The Gifts of Reading](#)」 (英語) は、ルーム・トゥ・リードの創設者ジョン・ウッド、ロバート・マクファーレン、フィリップ・プルマン、ロディ・ドイル、マイケル・オンダージ、ヤン・モリス、その他 17 人の著名な作家が、本を与えること、読むこと、受け取ることの変容的な力についての深い個人的なエッセイを集めたもので、ルーム・トゥ・リードの資金調達活動のために書かれたものです。この本は長年のサポーターであるジュニー・オーチャードによってキュレーションされたもので、現在、イギリス、オーストラリアなどで販売されています。



## 名前が入れられる児童書「BE BRAVE (勇気を出して)」

2020年には、リブリオとの提携により、名前が入れられる児童書「[Be Brave](#)」 (英語) を発売しました。「Be Brave」には、世界中の6人のアーティストによる美しい手描きの絵が掲載されており、アフリカ、アジア、ラテンアメリカにまたがるコミュニティの物語に光を当てるのに役立ちます。この本の売上はルーム・トゥ・リードをサポートしており、世界中に発送可能です。



## 作家のアドボケイト (擁護者)

ルーム・トゥ・リードの作家とイラストレーターのアドボケイト (擁護者) は、多様な体験に命を吹き込むストーリーテリングの力に共通の情熱を持つ、世界中の本のクリエイターのネットワークです。



Author Advocate  
Alka Joshi

国際識字デーを記念して、ルーム・トゥ・リードは、ベストセラー小説家のアルカ・ジョシ氏とクリスティーナ・ベイカー・クライン氏の2人の初代アドボケイト (擁護者) を迎えて、このイニシアチブを開始しました。より包括的で公正な世界を構築するために、ベストセラー作家で世界的に有名なチェンジメーカーとパートナーを組むことができることを光栄に思います。



Author Advocate  
Christina Baker Kline

## 著名なセレブリティやビジネスリーダーによる バーチャルでの読み聞かせ

ピーススタジオの「平和の100の献げ物」キャンペーンを通じて、ピーススタジオの共同設立者であるマヤ・ストロさんのナレーションによる読み聞かせを作成しました。マヤはオバマ大統領の異父姉であり、児童書の著者であり、オバマ財団のアドバイザーでもあります。

また、ティム・シュライバーとオプラ・ウィンフリーが主催した24時間世界放送のイベント The Call to Unite でも紹介されました。イベントでは、女優のジュリア・ロバーツがルーム・トゥ・リード・ベトナムの「[Rescue the Princess \(プリンセスの救出\)](#)」(日本語字幕あり。[YouTube](#)の字幕を日本語設定にしてください)の読み聞かせを、Prajakta Koli (インドのYouTuber 兼女優) がルーム・トゥ・リード・インドの「[The Village of Five Poles \(五本の電柱がある村\)](#)」の読み聞かせを行いました。

### バーチャルガラ

ルーム・トゥ・リードの2020年バーチャルガラシリーズ「IMAGINE (想像してください)」は、北米、英国、ヨーロッパ、中東、インド、香港、シンガポール、日本、オーストラリアの支援者を結びつけ、すべての人のための教育を現実のものにするために開催されました。

ライブ配信されたイベントでは、ビジネスリーダー、エンターテイナー、作家、インフルエンサー、ルーム・トゥ・リードの受益者が、世界的な大流行にもかかわらず、教育と夢を追求し続ける方法を語り、インスピレーションを与えるメッセージやパフォーマンスを披露しました。

イベントシリーズのハイライトは、[\(英語バージョン\)](#) [\(日本語バージョン\)](#) でご覧いただけます。



## 御礼：THANK YOU

この度は、教育を通じた世界の変化を生み出すために  
ルーム・トゥ・リードをご支援いただき、  
誠にありがとうございました。

パートナーシップにより、世界中の2,000万人以上の  
子ども達の生活を改善することができました。